

花きの県別生産出荷概況(6月見通し)

令和3年5月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期		作付面積		出荷見込み		6月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間 (ピーク)	ha (前年比)	千本 (前年比)	千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬				
											京浜地域向			
バラ	青森		サムライ アパランジェ	周年 (7~8月)	0.58 100%	205 101%	175 101%			10	40	50	JA津軽みらい	【津軽地区】 作付面積は横ばい。消雪が早く、生育は前進傾向のため、平年より切れ間 が早くなる見込み。
	茨城	施設	アマダ アパランジェ サムライ 他	周年	8 100%	430 100%			40	30	30	古河市 石岡市 茨城町	生育は平年並み。 病害虫の影響は特になし。	
	静岡	周年	サムライ オール4ラブ ベイブ シンディ	周年 (4~6月)	1.3 96%	970 96%	750 98%			40	30	30	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	3月末にピークが来たことで、栽培管理にて調整をかけている。現状出荷量 は多くなく、天候不順が続く見込みのため不安定な出荷が見込まれる。6月 は父の日があるが、狙った作付けはしていないため横ばいを見込む。
トルコキキョウ	青森		ホクトセイ ポヤージュ ロジーナ	6月~11月 (9月)	4.73 99%	869 114%	558 114%				30	70	JAつがるにしきた JA津軽みらい JA八戸	【津軽地区】 面積は前年より微増傾向。3月下旬の好天により、生育は前進気味のため、 出荷は平年より1週間ほど早まり6月中旬頃の見込み。 【県南地区】 面積は微増傾向。越冬品については、4月上旬の低温の影響が若干あつ たものの、5月上旬の好天もあり、生育は順調。6月下旬から出荷開始見込 み。
	秋田		セレブ系 ポヤージュ系	6月-12月 (8-9月)	10.9 95%	2,006 108%			5	15	80	ふるさと こまち	越冬ものにおいて大雪被害あり。生育障害の発生も見られる。例年よりも出 荷量のボリュームは少なくなる見通し。	
	茨城	促成 施設	レイナホワイト ポヤージュ クラリスライト 他	周年 (6月~ 7月)	7 100%	310 100%			35	35	30	水戸市 石岡市	生育は前進傾向。 病害虫の影響は特になし。	
	千葉	施設		4~8月 (6月) 10~12月 (11月)	7.0 108%	500 125%	500 125%			30	35	35	館山市 鴨川市 南房総市 (丸山・千倉)	5月に入り気温が安定して高くなってきたため6月は潤沢な出荷となる見込 み。 白、紫、ピンク、黄、グリーンが中心。
	静岡	半促成	セレブ系 ポレロ系 海ほのか レイナ系	10~6月 (4~6月)	0.8 94%	350 94%	250 95%			40	40	20	JA大井川 JAハイナン JA静岡市 JA遠州中央	2番花の収穫がスタートしており、出荷量は横ばいを見込む。6月に入っ てから出荷は本格化する見込みだが、例年より品種によるまとまりが少ないた め、安定した入荷を期待している。

花きの県別生産出荷概況(6月見通し)

令和3年5月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期		出荷見込み		6月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間	作付面積	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	ha (前年比)	千本 (前年比)	千本 (前年比)					
トルコキキョウ	大分	施設	エグゼ,ジュリアスL セレブリッチ,ボレロW マカナ,グラスライトP 他	周年 11~1月 5~6月	2.5	150	50	40	30	30	杵築 佐伯 玖珠九重	年内の返し(2度切り分)がピークを迎え、徐々に高冷地(玖珠九重)へ切り替わっていく。
	熊本	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年	冬春 20.25ha 103%	457 110%	311 110%	45	35	20	熊本市 菊池 やつしろ くま等	6月は概ね減少傾向にあるが、JAやつしろでは、5月末頃に2番花のピークを迎える見込みのため、上旬はある程度まとまった数量はあると予測。

花きの県別生産出荷概況(6月見通し)

令和3年5月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	昨年と違い母の日は受注量多く、緊急事態宣言下でも堅調な販売であった。輸入品はコロナ禍の影響大きく、飛行機の遅延や現地の天候不順によって予定が大幅に狂い、入荷量は減少。母の日以降は例年通りの相場となり、上位等級が販売苦戦した(大田)。GWは母の日、プライダル需要で高値となり一定の需要あるが潤沢な入荷が続く、保合相場(FAJ)。母の日以降は単価急落。入荷量も多く販売苦戦(第一花き)。母の日の週は相場も強く、入荷量も集まった。その後の入荷量は植え替えなどもあり、徐々に落ち着く(世田谷)。昨年はコロナの混乱で相場が見通せず出荷調整があったが、今年は母の日需要が回復し入荷、販売とも一昨年の8~9割くらいまで回復した(東日本板橋花き)。輸入物が少ない分昨年のような価格にはならず比較的安定している(東京FP)。	
	見通し	大田花き	西南暖地と高冷地の切り替え時期ではあるが、全ての産地が切り替わるまでは、品質の見極めを要する。メイン産地は山形、宮城、栃木。輸入品はケニア産は少なく、ウガンダ産は例年通りの見込み。
		FAJ	全体的に入荷数量は減る見込み。前半は落ち着いた相場が続くことが予想される。
		第一花き	高冷地も始まり、各産地潤沢にありそう。
		世田谷花き	出荷量は潤沢。高冷地産主体になるだろう。業務需要次第だが、相場は弱まる。
		東日本板橋花き	各産地まとまった入荷量となる。これといった需要はなくもち合いか入荷次第では弱もち合いの販売の見込み。
		東京フラワーポート	暖地産は改植を進め出荷は減、山形産増、輸入物は不確定な入荷が予想される。
トルコギキョウ	現状	各産地一番花の出荷が終盤に入り、減少傾向。沖縄、熊本、福岡、静岡中心の入荷。連休、母の日の需要から高値での取引となった。中旬は数量横這い、下旬から二番花の出荷となった(大田)。暖地、高冷地ともに入荷。前半は母の日需要で好調相場も、後半婚礼需要低迷で販売苦戦(FAJ)。母の日以降は相場は低迷している。業務需要もなく、厳しい販売状況(第一花き)。先月から物量があった沖縄県産が終盤へ。長野・福島県からの出荷始まる(世田谷)。現在昨年よりも多い入荷量だが、2番花まで空く産地もあり、下旬頃に再び増える見込み(東日本板橋花き)。前進傾向から5月に入り急に減少母の日もあり価格は堅調(東京FP)。	
	見通し	大田花き	各産地、二番花のピークが上旬に来るため数量増加。愛知、静岡、熊本中心に纏まる。中旬は減少するが、下旬にかけて、千葉が増加してくる。
		FAJ	栃木、福島などの高冷地中心の入荷の予定。例年並みの数量となる見込み。
		第一花き	高冷地が増えてくるなか、まだ暖地ものもあり、販売は苦戦している。
		世田谷花き	熊本・高知・茨城県産などの2番花も増え潤沢。千葉県産も最盛期を迎える。
		東日本板橋花き	福島県などが始まり、順調に生育すれば昨年より多い入荷となる。
		東京フラワーポート	長野、福島産出荷徐々に増加だが生育不良もあり数量減、熊本、千葉2番花中心。